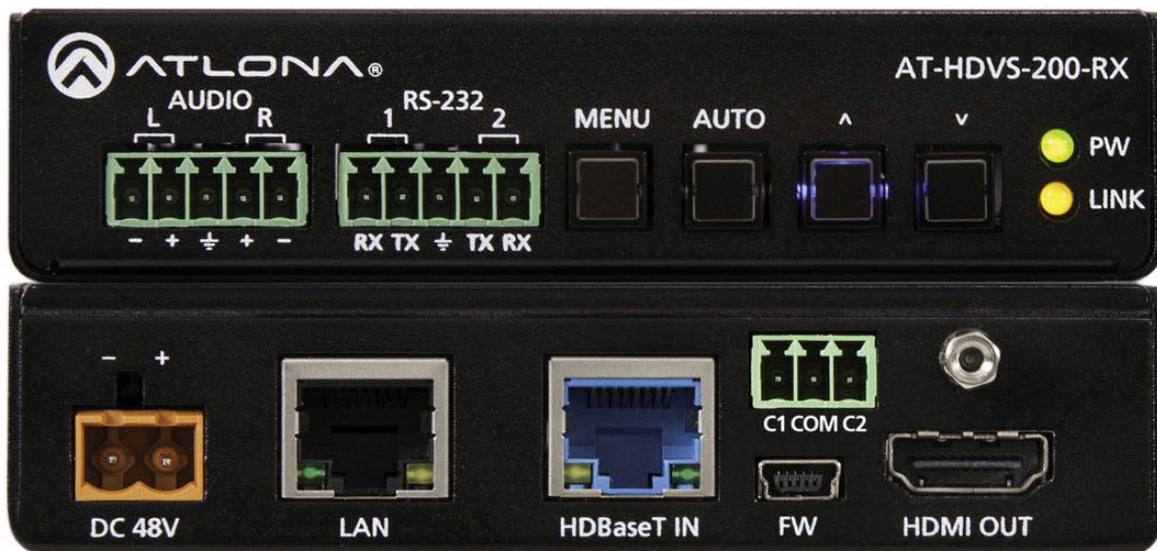


AT-HDVS-200-RX

ユーザーマニュアル



安全の為に

この製品を設置、使用される前に必ずお読み下さい。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使い下さい。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

	<p>「必ず守って下さい」という強制を表しています。</p>		<p>「絶対にしないでください」という禁止を表しています。</p>
---	--------------------------------	---	-----------------------------------

 **警告** この記号は取り扱いを誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。

 **本書を全て読むこと**
必ず実行
この製品を設置、使用する前に必ず本書を全てよく読み、本書の内容に従って下さい。

 **移動するときはケーブルを全て抜くこと**
必ず実行
電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないで下さい。ケーブルを痛めたり、周囲の方が転倒する原因になります。

 **水分をかけたり湿気にさらさないこと**
禁止
この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないで下さい。また、この製品を雨や霧にさらさないで下さい。感電や火災、故障の原因になります。

 **本体内部に液体や物をいれないこと**
禁止
火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼下さい。

 **電源コードは安全に配置すること**
必ず実行
電源コードをストーブの近くなど高温になる場所に設置しないで下さい。また踏んだり物に挟んだり、無理な配線を行うと、電源コードが損傷して火災の原因になる場合があります。また足など体の一部を引っ掛けるような場所に配置しないで下さい。負傷の原因になります。

 **改造を行わないこと**
禁止
決して製品内部を開いたり、ユニットパネルを動かしたり、その他マニュアルに記載されていない調整を行わないで下さい。これらの行為は感電やその他災害に繋がる可能性があります。また、あなたの製品にも損害を与える可能性があります。製品内部を開くと、保証対象外となりますのでご注意下さい。

 **本体を落下しないこと**
禁止
本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。

 **異臭や異常を感じたら修理を依頼すること**
禁止
正常に機能しない、電源コードやプラグに異常がある等の場合は、修理をお申し付け下さい。

 **電源コードを濡れた手でさわらないこと**
禁止
感電の原因となる場合があります。

 **裸火を近づけたり熱源の近くに設置しないこと**
禁止
この製品に直射日光を当てたり、ストーブなど熱源になるものの近くに置かないで下さい。本体が故障する原因になります。

 **本体は安定した場所に設置すること**
必ず実行
本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。

保証

本機の保証はご購入後1年間となっております。

正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、あらかじめご了承ください。

- お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
- お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損傷

技術的なご質問・修理窓口

サポートセンター

〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢 2-37-1

塚腰運送敷地内

 04-2944-3811

 04-2944-3812

 support_mackie@otk.co.jp

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

営業窓口

東京 東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1

 03-3639-7800 (代表)

 03-3639-7801

大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4

 06-6152-7751

 06-6152-7752

名古屋 名古屋市東区泉 1-23-30

 052-950-3324

 052-950-3325

広島 広島市中区富士見町 16-22-604

 082-258-2916

 082-2582917

福岡 福岡市南区大橋 4-16-18-201

 092-554-6066

 092-554-6064

仙台 宮城県名取市杜せきのした 2-2-16 シアラ杜せきのした 101

 022-797-5281

 022-797-5282

営業日 月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季

目次

1. 保証	3
2. 技術的なご質問・修理窓口	3
3. サポートセンター	3
4. はじめに	5
5. パッケージ内容	5
6. 特徴	5
7. パネル説明	6
8. カテゴリーケーブル	7
9. コネクタ	7
10. OSD メニュー	8
11. ネットワーク接続	10
12. WebGUI	10
13. RS-232	16
14. リレー	19
15. 接続図	20

はじめに

AT-HDVS-200-RX は、HDMI 出力端子とアナログオーディオ出力端子を搭載した HDBaseT スケーラーです。HDBaseT 信号を HDMI 信号に変換して出力を行い、かつバランス・アナログオーディオディエンベデッド機能や、IP/RS-232/CEC を利用したディスプレイコントロール機能なども搭載しています。AT-HDVS-200-RX は、スケーリング機能を内蔵した HDBaseT 受信器としても、シンプルな AV システムの制御器としても使用できます。AT-HDVS-200-TX と併用すると、HDMI 信号とエンベデッドオーディオ信号、および制御信号を最大 100m まで伝送できます。さらに双方を併用することで、自動ディスプレイオン/オフ、オートスイッチング、ボリューム調整といった様々な機能を活かすことができます。また、AT-HDVS-200-TX へ PoE (Power over Ethernet) により電力を供給し、スタンドアローン型の AV スwitchングを実現することができます。

注意： 互換性を保証するため、送信器および受信器の両方に青色の HDBaseT ポートがあることを確認してください。青色の HDBaseT ポートは、その製品が PoE (48V) に対応していることを表しています。HDVS-200-TX は PoCC (黒色の RJ45 端子、24) には対応しておりません。

パッケージ内容

- 本体
- メススクリューコネクター x 4 (5 ピン：オーディオ, 5 ピン：RS-232, 3 ピン：リレー, 2 ピン：電源)
- 48V DC 電源アダプター (スクリューコネクター)
- ラックマウント金具 x 1 ペア
- ユーザーマニュアル x 1

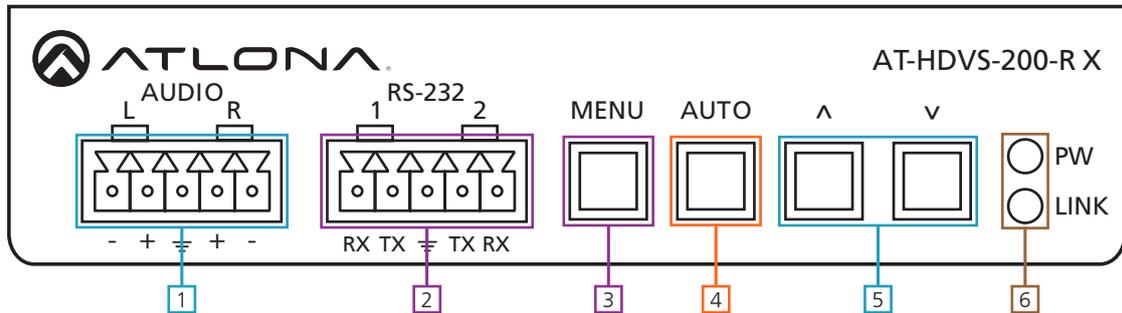
特徴

- 様々な入力信号を最大 1080p もしくは 1920x1200 の解像度へスケーリング
- コンタクトクロージャ入力を搭載
- 映像の明るさ、コントラスト、彩度、色合いなどを制御
- RS-232/IP/WebGUI/CEC* によるプロジェクターコントロール機能
- イーサネット経由の設定 / ファームウェア・アップグレード / デバイス設定 / 制御
- イーサネット対応 HDBaseT™ 伝送
- 自動ディスプレイ制御 - RX の電源状態 (スタンバイもしくはアクティブ) により、ディスプレイの電源をオン/オフ可能
- 音量調整
- オーディオ出力の高域と低域を調整し、最高のスピーカーパフォーマンスを実現
- AT-PA100-G2 などのアンプ向けのオーディオ・ディエンベデッド機能を搭載
- 互換性のある送信器 (AT-HDVS-200-TX など) へ PoE 経由で電源を供給
- よりよい互換性を保つための EDID 管理
- USB もしくは WebGUI を介したファームウェアアップグレードにより、現場でも容易な対応が可能

* **注意：** CEC (Consumer Electronics Control): CEC 機能がすべてのディスプレイに対して有効かどうかについて、Atlona はそれを保証しません。Samsung, Panasonic, Sony 製の多くの現行ディスプレイでは、問題なく動作していることを確認しました。多くのメーカーはソースから CEC の「オフ」コマンドをサポートしておらず、また古いディスプレイでは独自のコマンドを使用している場合があります。Atlona は、HDMI1.2a の CEC コマンド構造に対応し、ソースから「オフ」コマンドを受け取ることのできるディスプレイのみサポートしています。いかなるディーラーにも、システムデザインを行う前に、Atlona の CEC が設置されているディスプレイと互換性があるかを判断するためのサンプル製品を入手することをおすすめします。

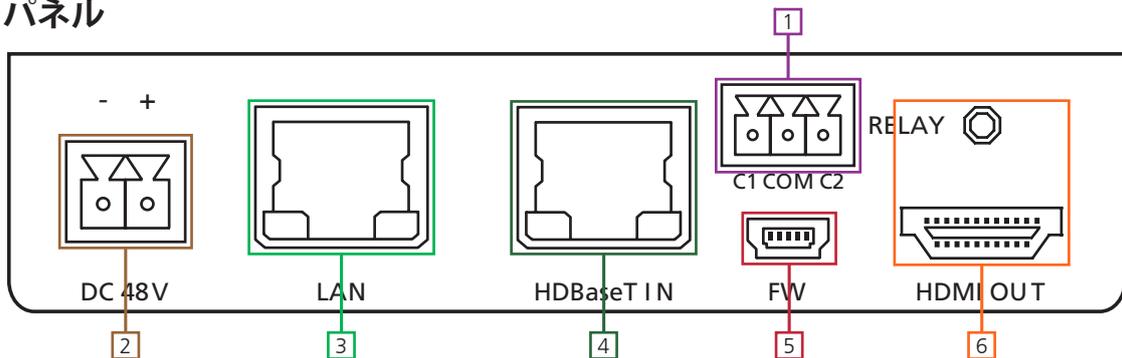
パネル説明

フロントパネル



1. **AUDIO 出力**: アンプ (ex. AT-PA100-G2) などに接続します。
2. **RS-232 デュアルポート**: ディスプレイ (ポート 1) および制御システム (ポート 2) に接続します。
3. **MENU ボタン**: ディスプレイメニューの選択、終了、または確定する際に使用します。
4. **AUTO ボタン**: 互換性のある送信器 (AT-HDVS-200-TX など) と接続されている場合、このボタンを押すことで VGA 信号を自動で調整します。
5. **^ ボタン / v ボタン**: ディスプレイメニューを操作する際に使用します。
6. **PW LED**: 電源が供給された際に点灯します。
7. **LINK LED**: HDBaseT 接続が問題なく機能している際に点灯します。

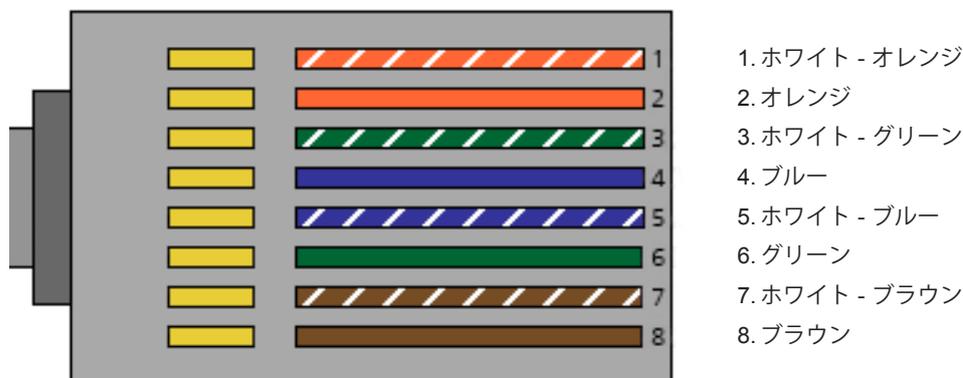
バックパネル



1. **RELAY デュアルシグナルポート**: デバイス制御向けのオープン/クローズ回路に使用します。
2. **DC 48V ポート**: 同梱の 48V DC アダプターを接続し、本機と本機に接続されている送信器に電源を供給します。
3. **LAN (黒) ポート**: イーサネット、TCP/IP もしくは WebGUI 制御のために、ネットワークスイッチもしくはルーターを接続します。
4. **HDBaseT 入力 (青) ポート**: PoE 対応の HDBaseT 送信器と接続します。
 e.g. AT-HDVS-200TX、AT-UHD-SW-52ED もしくは AT-UHD-CLSO-824 と互換性があります。
注意: 内部にスケーリング機能を搭載したスイッチャー (AT-UHD-CLSO-601) と本機を併用することはおすすめしません。信号の二重スケーリングなどの問題を引き起こす可能性があります。
5. **FW ポート**: ミニ USB - USB A ケーブルを使用しコンピューターと接続することで、ファームウェアをアップデートすることができます。
注意: 最新ファームウェアは下記よりダウンロード可能です。
<http://www.atlona.com/products/AT-HDVS-200-RX/>
6. **HDMI 出力ポート**: ディスプレイと接続します。
注意: 互換性を保証するため、送信器および受信器の両方に青色の HDBaseT ポートがあることを確認してください。青色の HDBaseT ポートは、その製品が PoE (48V) に対応していることを表しています。HDVS-200-TX は PoCC (黒色の RJ45 端子、24) には対応していません。

カテゴリーケーブル

この製品に使用するカテゴリーケーブルは、568B 配線を下記の図に示すように行われているか確認して下さい。



下記表を参考にし、設置の際に最も適したカテゴリーケーブルの選定を行って下さい。

パフォーマンスレート		LAN ケーブルの種類	
配線	シールド加工	CAT5e/6	CAT6a/7
単線	シールド (STP/FTP)	★★★	★★★★
	非シールド (UTP)	★★	-
撚り線 - パッチケーブル (非推奨)	非シールド (UTP)	★	-
	シールド (STP/FTP)	★	-
結線規格		TIA/EIA-568-B	

重要 :4K (UHD) 信号はケーブルの品質と設置方法に大変影響を受けやすいです。最良の結果を得るためには、CAT6a/7 のソリッドコアケーブルを使用して下さい。

注意 : ケーブルの敷設距離の詳細につきましては、P.20 をご参照下さい。

コネクタ

コネクタのタイプとサイズはエクステンダーが正常に動作する為の重要な要素となります。正しいケーブルタイプと RJ45 コネクタをご利用下さい。

CAT5e ケーブルは CAT5e RJ45 コネクタを使用してください。

CAT6 ケーブルは CAT6 コネクタを使用してください。

CAT6a ケーブルは CAT6a コネクタを使用してください。

CAT7 ケーブルは CAT7 コネクタを使用してください。

異なるサイズのコネクタを使用すると、信号の減衰の原因となります。

重要 :「EZ RJ45 コネクタ」は HDBaseT エクステンダーには推奨できません。オーディオおよびビデオ信号の伝送に障害を引き起こす可能性があります。

注意 : 互換性を保証するため、送信器および受信器の両方に青色の HDBaseT ポートがあることを確認してください。青色の HDBaseT ポートは、その製品が PoE (48V) に対応していることを表しています。HDVS-200-TX は PoCC (黒色の RJ45 端子、24) には対応していません。

OSD メニュー

Menu			
Input Select	HDMI 1		
	HDMI 2		
	VGA		
	Menu Back		
Input Resolution	800x600	1280x800	1920x1200
	1024x768	1366x768	Native
	1280x720	1920x1080	Menu Back
Output Resolution	800x600	720p25	1080p24
	1024x768	720p29.97	1080p25
	1280x800	720p30	1080p29.97
	1280x1024	720p50	1080p30
	1366x768	720p59.94	1080p50
	1400x1050	720p60	1080p59.94
	1600x900	1080i50	1080p60
	1600x1200	1080i59.94	Input
	1680x1050	1080i60	Native
	1920x1200	1080p23.98	Menu Back
Picture Adjust	Brightness	0 to 100	
	Contrast	0 to 100	
	Saturation	0 to 100	
	Hue	0 to 100	
	Sharpness	0 to 100	
	Picture Reset		
	Menu Back		
Aspect	Full	16:10 TV	Keep Ratio
	16:9 TV	4:3 TV	Menu Back
Overscan	Enable	Yes or No	
	H Size %	0 to 50	
	V Size %	0 to 50	
	Menu Back		
Audio	HDMI Audio	Enable or Disable	
	L/R Audio	Enable or Disable	
	Hot Keys	None	
	Mute	On or Off	
	Volume	0 to -80 dB	
	Treble	-12 to +15	
	Bass	-12 to +15	
	Menu Back		

Menu Option								
OSD	Position		Left-Top, Right-Top, Right-Bottom, Left-Bottom, Center					
	Transparency		0 (transparent) to 15 (solid)					
	Info. Timer		5 to 60 seconds					
	Menu Timer		5 to 60 seconds					
	Info. Display		Always On, Auto, Always Off					
	Menu Display		Always On, Auto, Always Off					
	Background		Grey, Cyan, Magenta, or Yellow					
	Menu Back							
Others	In Auto Switch		On or Off					
	VGA Auto Adjust		(used with compatible transmitter)					
	Display HDCP		Auto, Compliant, Noncompliant					
	Mirror-V		On or Off					
	ASP Background		Grey or Black					
	Menu Back							
Information	Source	----		Source Detection	X			
	Name	----		HV Total	X			
	Product	----		HV Display	X			
	Sink	----		HV Polarity	X			
	Model	----		Scan Mode	X			
	Native1	----		Type		-Audio-		
	Native2	----		HDCP	X	Type	X	
	FW Ver	-----	- V. XX	Clock	X	SR	X	
	MCU	TX: V. XX	RX: V. XX	Sync	X	FIFO	X	
	HDBT	V. XX	V. XX	Identify	X			
	Next Page			Menu Back				
	System Setup	Factory Reset		No or Yes				
		MCU FW Update		No or Yes				
HDBT FW Update		No or Yes						
Menu Back								
Menu Exit								

ネットワーク接続

HDVS-200-RX には DHCP が標準で採用されています。これにより、有効な IP アドレスを自動的に割り当て、HDVS-200-RX をネットワークへ接続することが出来ます。ネットワークがダイナミック IP アドレスに対応していなかったり TCP/IP 制御システムを利用してスイッチャーを制御している場合、この機能はオフになるため、RS-232 コマンドもしくは WebGUI を使用して設定された IP アドレスを指定してください。

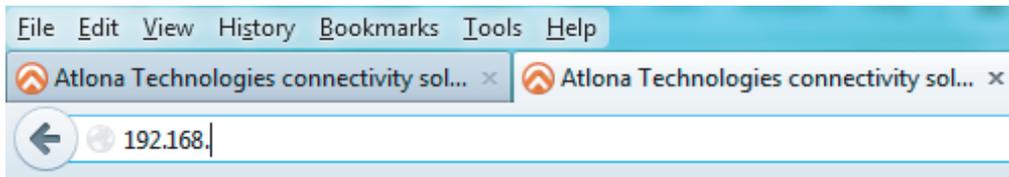
WebGUI

HDVS-200-RX の初回設定や、設定に変更を加える場合は、WebGUI を使用してください。

まず最初に、LAN ケーブルを HDVS-200-RX とネットワークスイッチの LAN ポートに接続して下さい。その後ユニットの IP アドレスを同じネットワークに接続されたコンピューターのウェブブラウザに入力して下さい（下図をご参照ください）。

スイッチャーの IP を確認するには：RS-232 の「IPCFG」というコマンドを使用してください。

注意： IP アドレスは、無料の IP スキャナーソフトウェアを使用しても確認することができます。* Atlona はコンピューターにインストールされているその他のプログラムを実行することによって発生するいかなる問題についても責任を負いません。インストールし実行する前に確認を行ってください。



重要： 接続が安定しない場合、スイッチャーへ干渉している可能性があるウィルスソフトやファイアウォールをオフにして下さい。WebGUI の初期設定が完了したら、ファイアウォールとウィルスソフトはオンに戻しても構いません。



Login

Username

Password

ログイン画面が表示されます（admin と general users のログインと同様です）。最初のログイン時の username は "root" で、パスワードは "Atlona" です。

注意： 管理者パスワードのみ変更することができます (P.11 を参照してください) ユーザーネームは常に「root」となります。



Info Video Audio Picture RS-232 Config System AT-HDVS-200-TX Logout

Info

Model Name : AT-HDVS-200-RX

Software Version : V0.2.18

VALENS Version : 1.30.92.1

Video Format : 720p60

TX Type : [AT-HDVS-200-TX](#)

WebGUI 上の Info タブから、基本的なシステム情報を確認することができます。

注意： HDVS-200-TX 以外の送信器と接続された場合、ナビゲーションバーには「GENERAL」と表示されます。

Input

Prefer Timing: 1280x800

VGA Adjust:

Output

Format: 720p60

Aspect: Full

Overscan

Enable:

H Size: 0 %

V Size: 0 %

Video タブからは入力選択や VGA 調節、そしてオートスイッチングの設定などを行うことができます。

Input

Prefer Timing - 入力と出力の互換性を保証するために、最も適した解像度を選択することができます。

VGA Adjust - ディスプレイの VGA タイミングを調整することができます。

Output Resolution - HDMI 出力からの出力解像度を選択することができます（下記のリストを参照してください）。

注意：RX はすべてのソースを選択した解像度にスケールします。

Aspect - イメージの高さと幅を調整します（下記のリストを参照してください）。

注意：HDVS-200-TX と併せて使用した場合、Prefer Timing と VGA Adjust は選択できない状態となります。これらの設定は TX の WebGUI を用いて行ってください。

Output Resolution

- | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 0 800x600p60 | 1 1024x768p60 | 2 1280x800p60 | 3 1280x1024p60 | 4 1366x768p60 |
| 5 1400x1050p60 | 6 1600x900p60RB | 7 1600x1200p60 | 8 1680x1050p60 | 9 1920x1200pRB |
| 10 1280x720p25 | 11 1280x720p29 | 12 1280x720p30 | 13 1280x720p50 | 14 1280x720p59 |
| 15 1280x720p60 | 16 1920x1080i50 | 17 1920x1080i59 | 18 1920x1080i60 | 19 1920x1080p23 |
| 20 1920x1080p24 | 21 1920x1080p25 | 22 1920x1080p29 | 23 1920x1080p30 | 24 1920x1080p50 |
| 25 1920x1080p59 | 26 1920x1080p60 | 27 Input | 28 Native | |

Aspect Ratio

- 1 Full 2 16:9 3 16:10 4 4:3 5 Keep Ratio

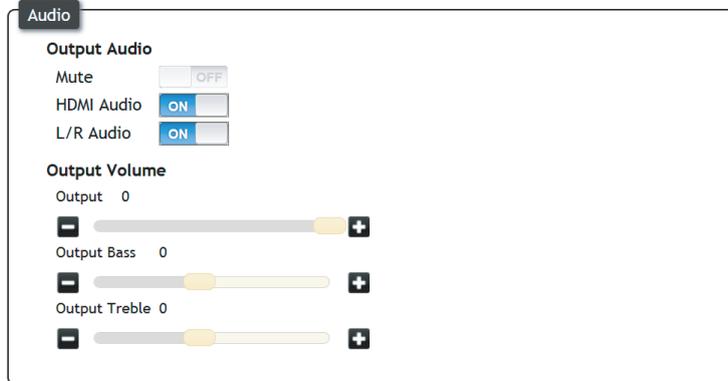
注意：ディスプレイのアスペクト比と異なっている場合でも、基本的にはソースのアスペクト比を採用してください。

Overscan

Enable - オーバースキャンの有効 / 無効の切替を行います。

H Size - ビデオの幅を調整します。

V Size - ビデオの高さを調整します。



Audio タブからはボリューム、低域や高域などサウンド全般に対する調整を行うことができます。

Output Audio

Mute - HDMI およびアナログオーディオ出力の両方のオン/オフを切り替えます。

HDMI Audio - HDMI オーディオのオン/オフを切り替えます。

L/R Audio - アナログオーディオのオン/オフを切り替えます。

Output Volume

Output - 出力ボリュームの調整を行います。

Output Bass - 低音域の調整を行います。

Output Treble - 高音域の調整を行います。



Picture タブからは出力の明るさ、コントラスト、彩度、色相、およびシャープネスの調整を行うことができます。

注意: イメージの調整を行う前に、ディスプレイ本体の設定をよく確認してください。

Reset Picture - 設定をデフォルトへリセットします。

RS-232

RS-232 Parameter Setting

Zone

Baud rate 19200

Data bit 8

Parity None

Stop bit 1

Save

Console

Baud rate 115200

Data bit 8

Parity None

Stop bit 1

Save

RS-232 パラメーター設定Zone -

フロントの RS-232 ポート 1 のパラメーターを調整します。ディスプレイコントロール用です。

Console -

RS-232 ポート 2 のパラメーターを調整できます。こちらは制御システムとの互換性を保証するための設定です。

Save -

RS-232 のパラメーターを変更したら Save ボタンを押し、情報をユニットへ反映させてください。

Configuration

Web & Telnet Login Settings

Old Username

Old Password

New Username

New Password

Confirm New Password

All User Login Settings

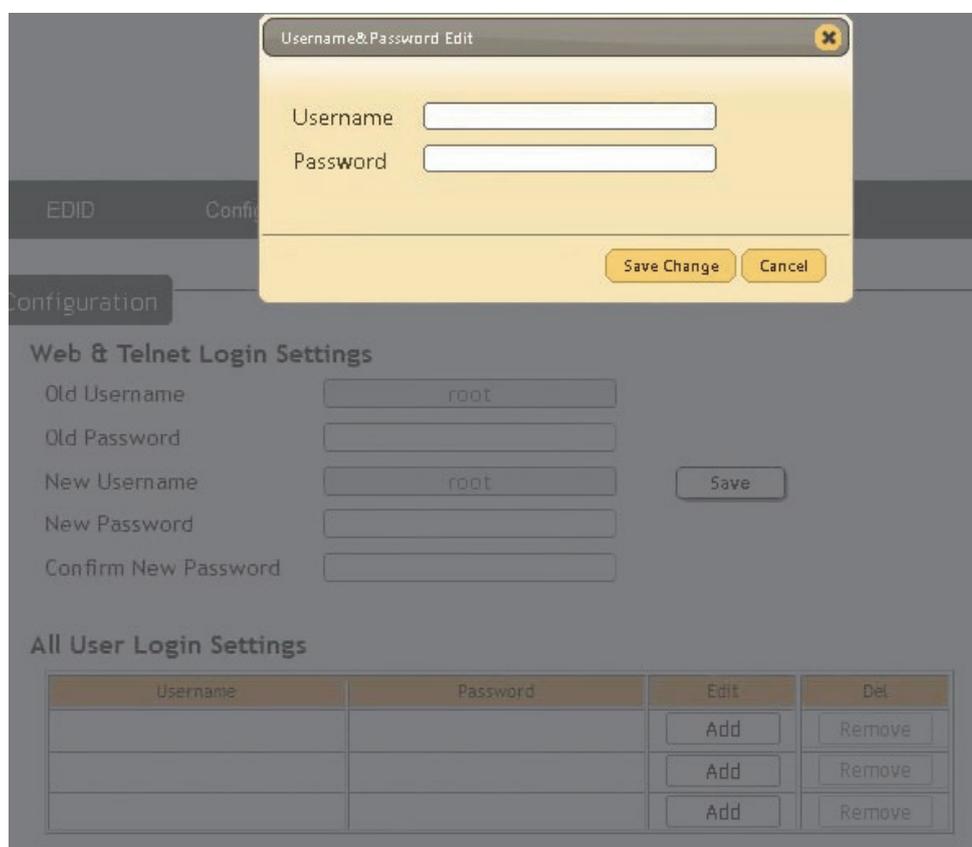
Username	Password	Edit	Del
		<input type="button" value="Add"/>	<input type="button" value="Remove"/>
		<input type="button" value="Add"/>	<input type="button" value="Remove"/>
		<input type="button" value="Add"/>	<input type="button" value="Remove"/>

Config タブでは 3 名までの管理者権限を持たないユーザーを追加することができます。また、管理者のパスワードを変更することができます。

管理者権限を持たないユーザーは最大 3 名までの追加となります。Add ボタンを押してください。ポップアップが表示されます（下記図をご参照ください）。ユーザーネームとパスワードを打ち込み、Save Change をクリックしてください。管理者権限を持たないユーザーはこのページへのアクセス権はありません。

管理者のパスワードもこちらで変更することができます。ユーザーを追加 / 削除できる権限は管理者のみに与えられておりますので注意下さい。

注意: デフォルトのユーザーネームは「root」、パスワードは「Atlona」となります。



The screenshot shows the configuration page with a modal dialog box titled "Username & Password Edit". The dialog contains two input fields: "Username" and "Password". Below the fields are two buttons: "Save Change" and "Cancel". The background page is dimmed, showing the "Web & Telnet Login Settings" and "All User Login Settings" sections.

Relay

Control

Follow Display Status
 Manual

Relay 1

Normally: CLOSE

Relay 2

Normally: CLOSE

System

Network

IP Mode: DHCP

IP:

Netmask:

Gateway:

Telnet Port:

Telnet Login Mode

OFF

Telnet Timeout

Broadcast

ON

Reset to Default

Firmware Update

No file selected.

Valens Update

No file selected.

Relay

Control

Follow Display Status: 電源がオン/オフになると、信号の状態に基づいてリレーが自動的に切り替わります。

Manual: IP/RS-232 コマンドにより、リレーのオープン/クローズを切り替えます。

Relay 1 & 2 (セットアップは P.16 をご確認ください)

Open: 電流を遮断します。

Close: 回路をつなげ、デバイス機能のトリガーに電源を送ります。

System

Network - IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、Telnet ポートはお使いのネットワークとの互換性を保証できるように、自由に設定することができます。ネットマスクとゲートウェイはお使いの既存ネットワーク設置とマッチする必要があります。

IP Mode:

Static - 固定 IP アドレスをセットします。

注意: 制御システムを用いる場合、安定した接続環境を確立するためには、固定アドレスをセットすることをおすすめします。

IP アドレスを選択したら、その IP アドレスを使用するその他のデバイスがないことを確認してください。

DHCP - DHCP は割り振られていない IP アドレスを自動で検知し割り当てます。

Telnet Login Mode - オン/オフの切替 - 設定を変更する際にパスワードが要求されます。

Telnet Timeout - 1 ~ 3600 秒の間から、自動ログオフする長さを設定することができます。

Broadcast - すべてのコントロールポートからフィードバックを送信するかの切り替えができます。

Reset to Default - 工場出荷時の設定へリセットします。

Firmware Update - スイッチャーの MCU ファームウェアをロードし、アップデートすることができます。

注意: 最新ファームウェアは以下のアドレスよりダウンロードできます。 <http://www.atlona.com/products/AT-HDVS-200-RX/>

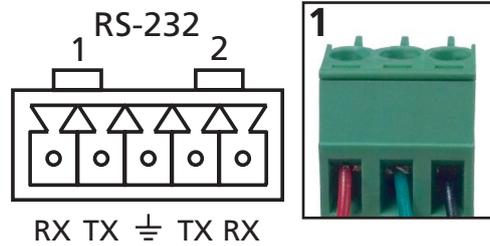
Valens Update - HDBaseT チップのファームウェアをロードし、アップデートすることができます。

RS-232

配線

RS-232 のピン配列は接続するデバイスにより異なり、(グラウンド)、TX (送信器)、RX (受信器) から成り立ちます。(図 1 をご参照下さい)

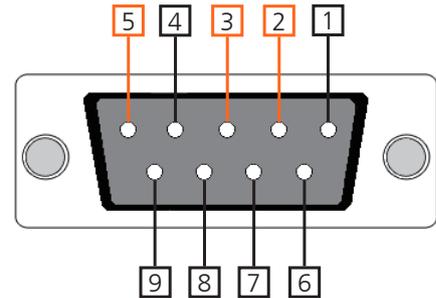
注意: ユニットの制御するには、スクリーコネクターの 3 つのポートを正しく接続する必要があります。



ケーブルの色は製造メーカーにより異なります。

RS-232 には DB 9- ピンスクリーコネクターが用いられることが多くあります。ピン一つ一つにそれぞれ機能が割り当てられており、一方で割り当てられていないピンもあります。

注意: 一般的な DB9 コネクターはピン 2 が TX、ピン 3 が RX、そしてピン 5 がグラウンドとなっています。一部の製品に関してはピン 2 とピン 3 が反対になっている場合があります。



設定

RS-232 のターミナル (他社製のソフトウェアをしていない場合) を使用する場合は下記の手順に従ってください。

1.RS-232C ケーブル (DB9 - DB9) と変換アダプター (DB9 - USB) を用いて、HDVS-200-RX とコンピューターを接続します。

注意: ジェンダーチェンジャーやヌルモデムケーブルが必要となる場合があります。

a. DB9 コネクターを取り外し、付属のスクリーコネクター (上記で説明) にワイヤーを配線します。その後、コネクターを HDVS-200-RX に接続してください。

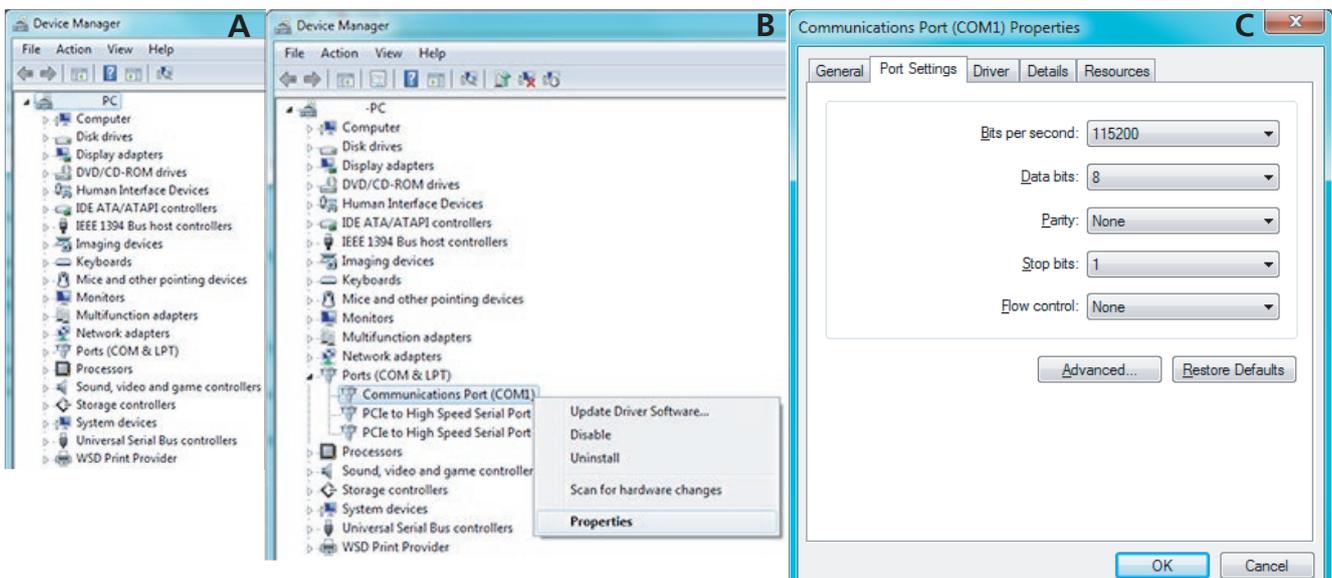
2. デバイスマネージャーフォルダを開いて下さい (図 A をご参照ください)。

3.HDVS-200-RX COM ポートを右クリックし、プロパティを選択して下さい (図 B をご参照ください)。

注意: HDVS-200-RX の COM ポートがどれか判別できない場合、ケーブルを引き抜き、接続しなおして下さい。COM ポートリストから消え、すぐに再表示されます。

4. プロパティメニューの中のポート設定タブを選択し、メニューのデフォルト設定を更新します。: Bits Per Second: 115200, Data Bits: 8, Parity: None, Stop Bits: 1 and Flow Control: None. (図 C をご参照下さい)

以上で設定は完了し、これで HDVS-200-RX をターミナルプログラムで制御することが可能になります。



コマンド	フィードバック	説明
Type	Type	ユニットのモデルナンバーを表示します。
Version	Version	Bootcode とファームウェアのバージョンを表示します。
Mreset	Mreset	ユニットをリセットし、工場出荷時の状態に戻します。
PrefTiming X	PrefTiming X	EDID の Preferred Timing を設定します。X = 0-8 & sta
VOUT + e.g. VOUT +	VOUT XX e.g. VOUT -5	出力のボリュームを 1 上げます。 e.g. ボリュームを 1 上げる。
VOUT - e.g. VOUT -	VOUT XX e.g. VOUT -20	出力のボリュームを 1 下げます。 e.g. ボリュームを 1 下げる。
VOUT X e.g. VOUT -10	VOUT X e.g. VOUT -10	ボリュームを -80 から 0 の間の特定のレベルに設定します。 e.g. ボリュームを -10 に設定する。
VOUTMute X e.g. VOUTMute on	VOUTMute X e.g. VOUTMute on	全てのオーディオ出力のミュート / ミュート解除を設定します。X = on, off, sta e.g. 全てのオーディオ出力をミュートする。
HDMIAUD X e.g. HDMIAUD off	HDMIAUD X e.g. HDMIAUD off	HDMI 出力オーディオのオン / オフを設定します。X = on, off, sta e.g. HDMI 出力のオーディオをオフにする。
LRAUD X e.g. LRAUD on	LRAUD X e.g. LRAUD on	アナログオーディオ出力のオン / オフを設定します。X = on, off, sta e.g. アナログオーディオ出力をオンにする。
Bass X e.g. Bass +	Bass X e.g. Bass 5	オーディオ出力の低域を調整します。X = +, -, sta, -12 to 15 e.g. 低域を 1 上げる。
Treble X e.g. Treble -5	Treble X e.g. Treble -5	オーディオ出力の高域を調整します。X = +, -, sta, -12 to 15 e.g. 高域を -5 に設定する。
VidOutRes X e.g. VidOutRes 22	VidOutRes X e.g. VidOutRes 22	出力解像度を設定します。X = 0-27, sta e.g. 出力解像度を 1920x1080p29 に設定する。
Aspect X e.g. Aspect 2	Aspect X e.g. Aspect 2	出力のアスペクト比を設定します。X = 0-4 e.g. 出力アスペクト比を 16:10 に設定する。
Zoom X e.g. Zoom on	Zoom X e.g. Zoom on	オーバースキャン (Zoom) の有効 / 無効を設定します。X = on, off, sta e.g. オーバースキャンを有効にする。
HZoom X e.g. HZoom 10	HZoom X e.g. HZoom 10	水平方向のオーバースキャンを調整します。X = 0-50, sta e.g. ビデオ信号の幅を 10 に調整する。
VZoom X e.g. VZoom 12	VZoom X e.g. VZoom 12	垂直方向のオーバースキャンを調整します。X = 0-50, sta e.g. ビデオ信号の高さを 12 に調整する。
BRT XX e.g. BRT 30	BRT XX e.g. BRT 30	出力の輝度を設定します。 e.g. 出力の輝度を 30 にする。
CTRST XX e.g. CTRST 20	CTRST XX e.g. CTRST 20	出力のコントラストを設定します。 e.g. 出力のコントラストを 20 に設定する。
SATRT XX e.g. SATRT 65	SATRT XX e.g. SATRT 65	出力の彩度を設定します。 e.g. 出力の彩度を 65 に設定する。
HUE XX e.g. HUE 38	HUE XX e.g. HUE 38	出力の色合いを設定します。 e.g. 出力の色合いを 38 に設定する。
Sharp XX e.g. Sharp 11	Sharp XX e.g. Sharp 11	出力のシャープネスを設定します。 e.g. 出力のシャープネスを 11 に設定する。
PicReset	PicReset	映像の設定をデフォルトに戻します。

各コマンドはキャリッジ・リターンで終了します。

フィードバックはキャリッジ・リターンおよびラインフィードで終了します。

注意: コマンド送信に失敗したり、コマンドが間違っていたりした場合、「Command FAILED」というフィードバックになります。

Preferred Timings -

0 Default	1 1280x800	2 1920x1080	3 1024x768	4 1280x720
5 1920x1200	6 1366x768	7 800x600	8 1600x900	sta

Output Resolution -

0 800x600p60	1 1024x768p60	2 1280x800p60	3 1280x1024p60	4 1366x768p60
5 1400x1050p60	6 1600x900p60RB	7 1600x1200p60	8 1680x1050p60	9 1920x1200pRB
10 1280x720p25	11 1280x720p29	12 1280x720p30	13 1280x720p50	14 1280x720p59
15 1280x720p60	16 1920x1080i50	17 1920x1080i59	18 1920x1080i60	19 1920x1080p23
20 1920x1080p24	21 1920x1080p25	22 1920x1080p29	23 1920x1080p30	24 1920x1080p50
25 1920x1080p59	26 1920x1080p60	27 Input	28 Native	sta

Aspect Ratio -

1 Full	2 16:9	3 16:10	4 4:3	5 Keep Ratio
--------	--------	---------	-------	--------------

注意: 正しくないアスペクト比が設定されている場合、水平もしくは垂直なバーが余分なスペースに表示されます。

RS-232 パラメーター

HDVS-200-RX を制御するためのデフォルト・ボーレートは 115200 です。

注意: ディスプレイのボーレートについては、ディスプレイのマニュアルを参照してください。

HDVS-200-RX のボーレート (ポート 2) もしくはゾーン出力のボーレート (ポート 1 - ディスプレイ / プロジェクターの制御) を変更するには、以下のコマンドを使用してください:

HDVS-200-RX のパラメーターコマンド

CSpara[baudrate,data-length,parity,stop-bit] (HDVS-200-RX の data-length, parity, および stop-bit は 8,0,1 に設定される必要があります。)

e.g. ボーレートを 38400 に変えたい場合、CSpara[38400,8,0,1] というコマンドを使って下さい。

注意: 接続した制御システムが 115200 と動作しない場合に、このコマンドを使って下さい。

ゾーン出力のパラメーターコマンド (ディスプレイ制御向け)

RS232para[baudrate,data-length,parity,stop-bit]

e.g. 出力のボーレートを 19200 に変えたい場合、RS232para[19200,8,0,1] というコマンドを使ってください。

注意: 選択したディスプレイが異なるボーレートを使用している場合にこのコマンドを使用してください。

RS232zone[command]

HDVS-200-RX とゾーン出力のパラメーターがコミュニケーションに最も適したものに設定されると、ディスプレイ制御のためにコマンドが送られるようになります。コマンドはディスプレイもしくはプロジェクターに付属しているユーザーマニュアルを参照してください。コマンドと、コマンド内のキャリッジ・リターンおよびラインフィードは [] の中にタイプしてください。

e.g. PWRON キャリッジ・リターンコマンドを用いディスプレイもしくはプロジェクターの電源をオンにするには、以下のようにコマンドを設定してください。:

RS232zone[PWRONCR]CR

注意: CR = キャリッジ・リターン

IP コマンド

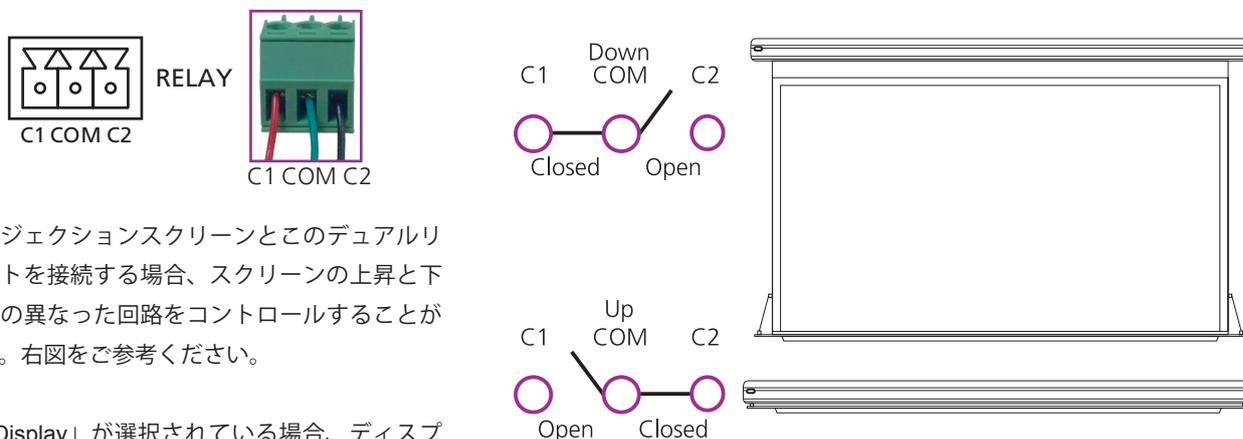
コマンド	フィードバック	説明
IPCFG	IP Addr : x.x.x.x Netmask : x.x.x.x Gateway : x.x.x.x IP Port: x.x.x	IP アドレスのコンフィグを表示します。
IPTimeout XX e.g. IPTimeout 120	IPTimeout XX e.g. IPTimeout 120	TCP/IP が切断されるまでの非アクティブ時間を秒単位で指定します。
IPAddUser	TCP/IP username & password list: - user password - user password - user password	ユーザーリストを表示します。
IPAddUser X Y	TCP/IP user was added	TCP/IP 制御を行うユーザー登録をします。X = User Y = Password e.g. IPAddUser Atlona 1234 (User = Atlona 1234 = Password)
IPDelUser X	TCP/IP user was deleted	TCP/IP 制御を行うユーザーの登録を削除します。X = User e.g. IPDelUser Atlona
IPDHCP sta	IPDHCP sta e.g. IPDHCP on	DHCP のステータスを表示します。
IPDHCP on	IPDHCP on	DHCP を有効にします。
IPDHCP off	IPDHCP off	DHCP を無効にします。
IPStatic X Y Z e.g. IPStatic 192.168.1.1 255.255.255.0 192.168.1.200	IPStatic X Y Z e.g. IPStatic 192.168.1.1 255.255.255.0 192.168.1.200	固定 IP アドレスを設定します。 IPStatic Address(X) Netmask(Y) Gateway(Z)
IPPort X	IPPort X	TCP/IP ポートの設定を行います。(ex. IPPort 230)
IPLogin X e.g. IPLogin on	IPLogin X e.g. IPLogin on	IP ログインを有効 / 無効にします。X = on, off, sta e.g. IPLogin が有効になる。
Broadcast X e.g. Broadcast sta	Broadcast X e.g. Broadcast on	Broadcast を有効 / 無効にします。X = on, off, sta e.g. Broadcast が現在有効になっていることを確認できる。

リレー

HDVS-200-RX に内蔵されているデュアルリレーは、電動スクリーンなどのデバイスを制御することができます。

リレーには3つの接続端子があります：C1、COMそしてC2です（Circuit 1、Common、Circuit 2）。デバイスからのケーブルを3ピンのスクリーコネクタ（下記図を参照）に接続し、その後リレーポートに挿入してください。

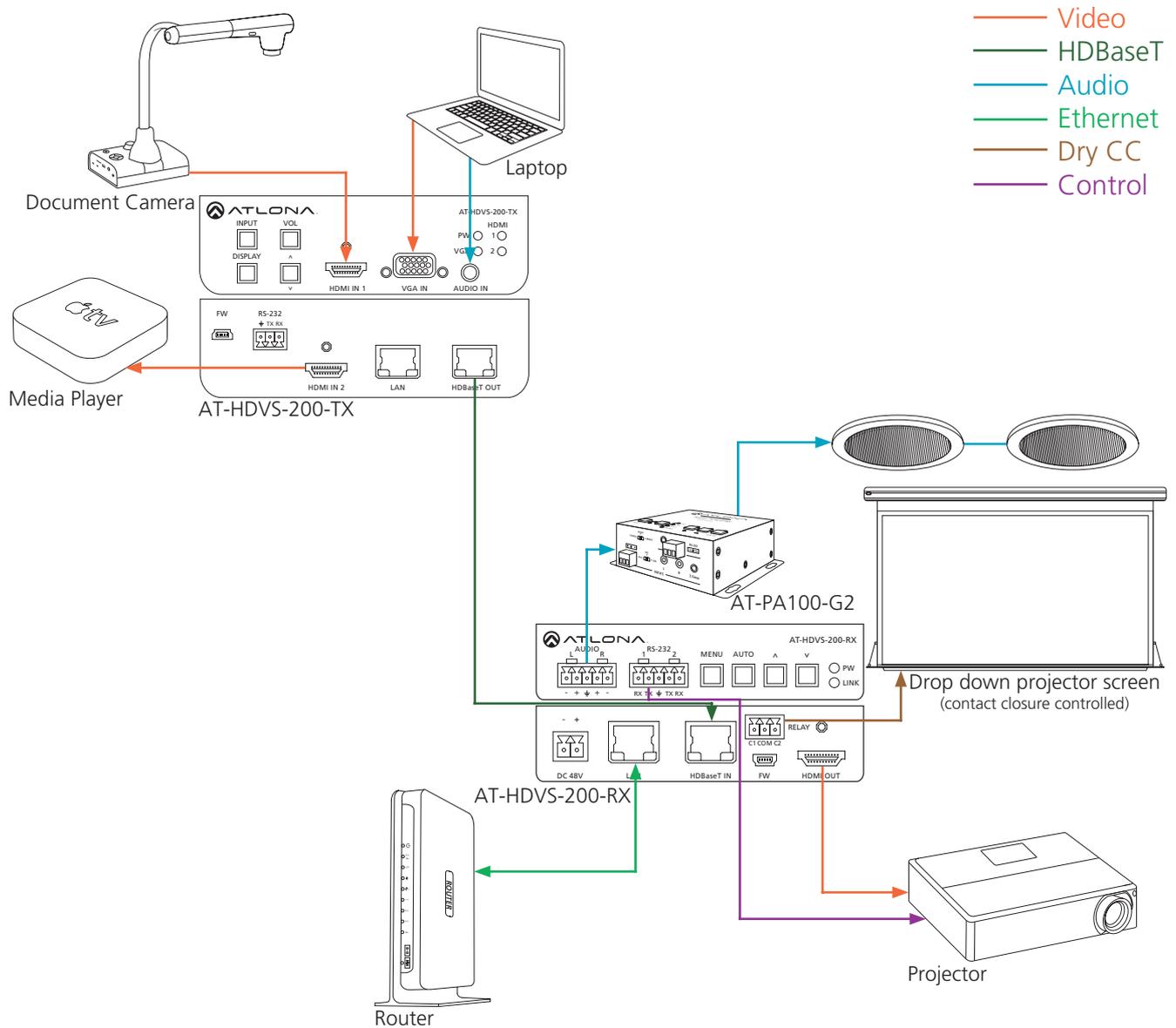
注意：このリレーは低電圧 / 低電流の回路と使用できるように設計されています。



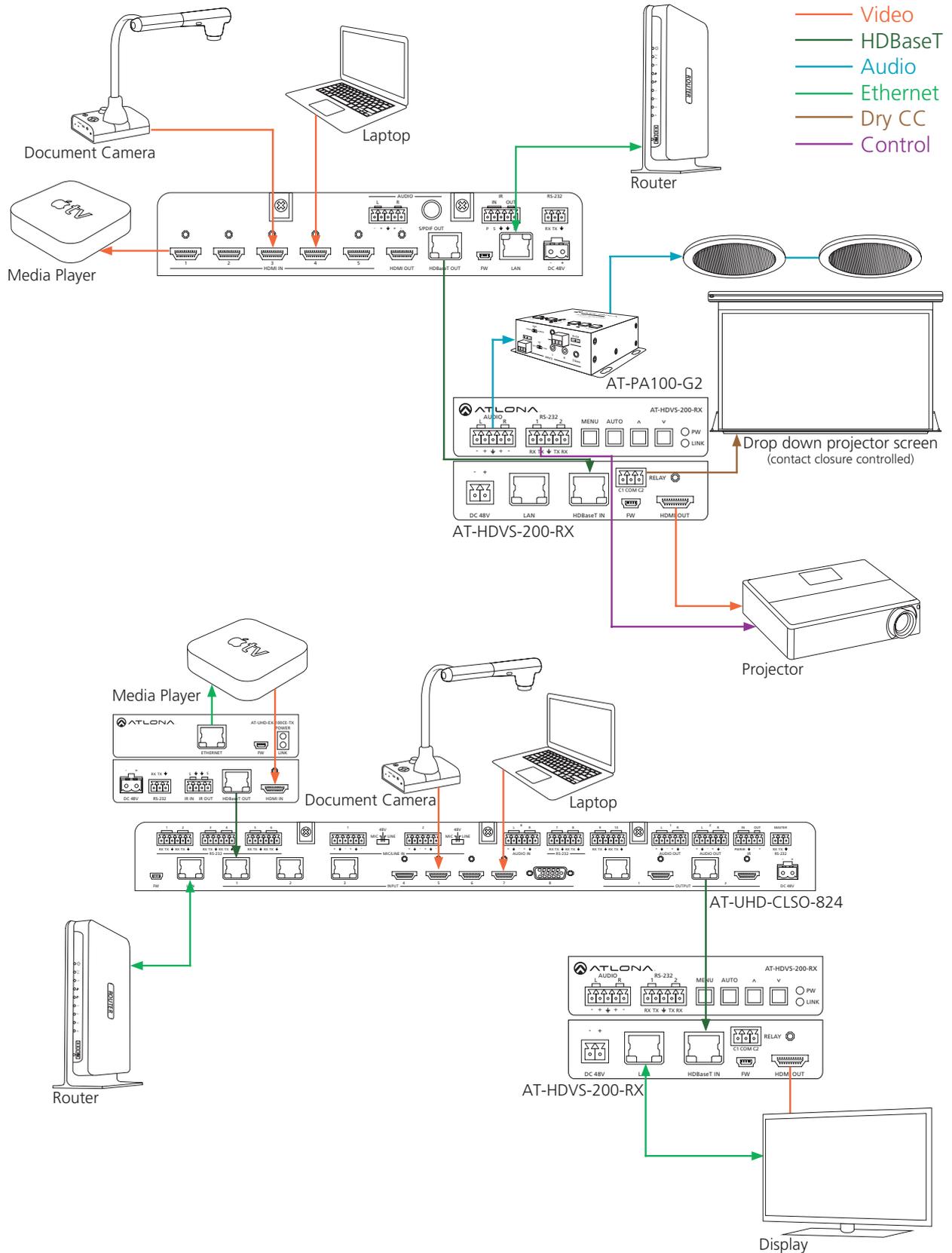
電動プロジェクションスクリーンとこのデュアルリレーポートを接続する場合、スクリーンの上昇と下降の2つの異なる回路をコントロールすることができます。右図をご参考ください。

「Follow Display」が選択されている場合、ディスプレイ / プロジェクターの電源状態が自動的にトリガーとなります。HDVS-200-RX が信号を受信しなくなるとそれが一方の回路のトリガーとなり（図の上段）、HDVS-200-RX が信号を受信し始めるとそれがもう一方の回路のトリガーとなります（図の下段）。これによりシンプルなデバイスの自動制御が可能となります。

接続図 (HDVS-200-TX を併用した場合)



接続図 (スイッチャーを併用した場合)



スペック
ビデオ解像度

Video	1080p@23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60Hz, 1080i@50/59.94/60Hz, 720p@50/59.94/60Hz, 576p, 576i, 480p, 480i
VESA	1920 x 1200, 1680 x 1050, 1600 x 1200, 1600 x 900, 1440 x 900, 1400 x 1050, 1366 x 768, 1360 x 768, 1280 x 1024, 1280 x 800, 1280 x 768, 1152 x 768, 1024 x 768, 800 x 600, 640 x 480
カラースペース	YUV, RGB
クロマサブサンプリング	4:4:4, 4:2:2, 4:2:0*
色深度	8 ビット, 10 ビット, 12 ビット

オーディオ

アナログ出力	PCM 2Ch (ディエンベデッドのみ)
HDMI/HDBaseT 出力	PCM 2Ch, LPCM 5.1, LPCM 7.1, Dolby Digital, DTS 5.1, Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD, DTS-HD Master Audio, Dolby Atmos
サンプリングレート	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz, 88.2 kHz, 96 kHz, 176.4 kHz, 192 kHz
ビットレート	24 ビットまで

伝送距離

CAT5e/6/6a/7 @ 1080p	100m まで
HDMI 入出力 @ 1080p	10m まで

信号

周波数帯域	6.75 Gbps
CEC	対応
HDCP	1.4 対応

温度

運用時	0℃から 50℃
保管時	-20℃から 60℃
湿度	20% から 90%

電源

消費電力	30W (TX とベアで使用時)
サプライ	入力 : AC100-240V ~ 50/60Hz 出力 : DC 48V/0.83A

寸法

H x W x D	30 x 122 x 125 (mm)
------------------	---------------------

重量

デバイス	0.46 kg
-------------	---------

認定

製品	CE, FCC
サプライ	CE, FCC, Level VI, RoHS, cULus, RCM, CCC



